

農業振興公社だより

第24回総会書面議決される。

角田市農業振興公社の第24回総会は、新型コロナウイルスの感染拡大により、全国に緊急事態宣言が発表され、外出等の自粛がなされていたこと、収束がいつ時点になるか未定であること、総会を延期しても開催できるかどうか不明であり、総会の開催方法として、会員全員の書面議決による開催といたしました。

令和2年5月14日開催の令和2年度公益社団法人角田市農業振興公社第1回理事会で書面による議決を行うことが承認されたことにより、会員の皆さまへの議案書と議決権行使書を送付し、議決権行使書を返送いただきました。

第一号議案の『平成31年度事業の報告と正味財産増減計画書、貸借対照表及び財産目録の承認について』をご審議いただき、承認されました。この結果については、令和2年6月12日付けで、会員の皆さまに「ご連絡しているところです。」

なお、議決権行使書に記載のあった議案に対する意見についてご紹介いたします。

◎議案等に関する意見について

いただいた意見の中から、一部をご紹介します。

『計画にある「六次産業化」や「地産地消」の推進とインターネット等を活用した情報発信・都市交流活性化に期待しております。』

『「作る農業」から「売る農業」への転換を積極的に図るため、ブランド化を進め、消費者の信頼を一層高める必要がある。そのために、生産技術の向上等による高付加価値生産、販売、新たな商品を促進すると掲げているので、もっと積極的な事業拡大を望む。』

『事業内容の見直し、公社設立の目的に立ち帰って、新しい体制を作る時期ではないでしょうか。』

いただいたご意見を今後の公社事業運営に活かしてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願っています。

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一
電話 (0224) 63-1331
FAX (0224) 61-1511
URL <http://www.kakunou.or.jp/>
E-mail kakuda@kakunou.or.jp

特別会員農産物生産者会議開催
～より一層の満足される農作物の提供を～

角田の農産物を毎年楽しみにしていただいている特別会員の皆様にお届けするための生産者打ち合わせ会が6月4日、角田市農業振興公社会議室で開催されました

この会議は、特別会員の皆様に喜んでいただける農産物を生産し、お届けしようと毎年開催している会議で米、梨の生産者ら3名が出席いたしました。

会議では、事務局から昨年度までの申込口数の推移及び申込者からのアンケート結果、農畜産物の品目基準等の説明がなされました。アンケートの内容については、毎年届くのを楽しみにしております。今年は特に気候が不順でお米作りも大変苦労されたことと存じます。おいしく頂戴いたしました。などの意見が多く、また、次回も購入したいとの意見をいただきました。そして、昨年台風19号被害への生産者に対するお見舞いの言葉等がありました。

最後に、特別会員事業にご賛同していただいている会員や今後、ご賛同いただけます皆様に、より満足し



△農産物の意見を出し合う生産者

※特別会員とは、角田市農業振興公社が目指す「暮らしといのちを守る農業」の理念と安全で安心な農産物づくりの取組みに賛同し、それを積極的に支援しようとする個人または団体の集まりです。会員の特典として、旬の角田の味覚を味わうことができます。※申し込み等については、6ページの特別会員募集についての記事をご覧ください。

ていただけるように生産者と角田市農業振興公社が一体となり、より一層の品質が良く安全・安心で美味しい農作物の提供を行い、対応して参りたいと考えております。
今年度も募集案内を発送しておりますのでよろしくお願いたします。

角田市農業機械銀行の 通常総会が開催されました

去る4月16日(木)午後6時から
仙南シンケンファクトリーセミナー
ルームにおいて角田市農業機械銀行
(理事長 菊地勝治/会員数27人)
第46回通常総会が行われました。
今回は、新型コロナウイルス感染
防止のため来賓は招待せず、本人出
席10名、委任状出席7名、計17名の
出席で開会しました。



△通常総会の様子

はじめに菊地理事長から、角田市
農業機械銀行も後継者不足・高齢化
等により会員数も減少し、利用者も
少なくなっていることから、一昨年
より解散の話が出ておりましたが、
3月18日に行われました監査会・理
事会において令和2年度限りで解散
をすることが決議されましたので、
今総会の議事第7号議案で審議方お
願いますと挨拶がありました。

続いて、菊地理事長が仮議長にな
り、議長に角田地区の熊谷繁寿さん
を選出、議事録署名人に桜地区横山
誠一さん、北郷地区白戸康一さんを
指名し書記は事務局を任命し議事に
入りました。事業報告や収支決算、今
年度の事業計画・予算(案)・役員改
選として組織の解散など第1号議案
第7号議案まで慎重審議を行い原
案通り承認されました。

よって、角田市農業機械銀行は今
年度限りで事業を終了し、令和3年
4月に解散総会をすることに決定し
ました。
例年ですと、総会終了後に懇親会
を実施しておりましたが、新型コロナ
ウイルス感染症拡大防止のため、行
わず出席者に記念品を渡して終了と
なりました。

角田市農業経営者会議総会 書面議決により決議される

角田市農業経営者会議(森谷茂会
長 会員51名)は、新型コロナウイルス
感染症の感染拡大の防止を図る
ため、総会に代えて、会員による書面
議決を行いました。6月5日付けで
総会議案(議決権行使書を会員に送
付し総会決議があったものとみなさ
れた日)を令和2年6月19日とし、令
和元年度事業報告及び収支決算書の
承認など4案件を書面議決した結果、
全議案とも承認されました。
本年度も農業経営者会議としては、
コロナ禍の中で、開催できる事業を

実施していきます。安心・安全な農作
業に従事していただけるよう会員の
破傷風予防接種、脳検診への助成、ま
た、先進地視察に対するの助成を行
うとともにセミナー、講演会等の開
催をとおして、個々の農業経営に対
する知恵、情報等を多くの会員と共
有しながら、角田市の農業発展に努
めていきます。

地酒用地場産米消費拡大推進協議会 総会おらほの美酒を育てる会 書面議決により決議される

地酒用地場産米消費拡大推進協議
会岸浪 俊一会長 会員36名は、
新型コロナウイルス感染症の感染拡
大の防止を図るため、総会に代えて、
会員による書面議決を行いました。
6月10日付けで総会議案(議決権行
使書を会員に送付し、総会決議があ
ったものとみなされた日)を令和2年
6月19日とし、令和元年度事業報告
及び収支決算についてなど3案件を
書面議決した結果、全議案とも承認
されました。

本年度は、新型コロナウイルス感
染症の影響もあり、酒まつり等のイ
ベントは開催できないものの、引き
続き、『牟宇姫』の販売や新たな企画
として角田産美山錦を使用して、蔵
王酒造で醸造する『ひやおろし』の販
売、利き酒競技会の開催などを予定
しておりますので、みなさま、楽しみ
にお待ち下さい。ひやおろしについ
ては、現在、予約受付中ですので、お
問い合わせ下さい。



数量限定で販売いたします



この度、かくだの地酒を楽しむ会
では、新たな企画といたしまして、
角田産の酒米「美山錦」を使用し、
蔵王酒造で醸造する「ひやおろし」を
特別販売いたします。

『ひやおろし』とは・・・

- ① 冬に仕込んだ新酒を一回のみ火
入れする。
- ② 低温貯蔵で夏の間じっくり熟成
させる。
- ③ 秋風が吹くころに出荷される日
本酒です。

寝かせることで角が取れ飲み口が
良くまろやかで味わい深いのが特徴
です。
脂の乗った秋の秋刀魚や冬の鍋物
との相性は最高かも♪

今回、純米大吟醸と特別純米酒2
本一セット、秋季限定及び数量限定
にて販売いたします。
ご希望の方は、農業振興公社事務
局にお問い合わせ下さい。

※20歳以上の方のみの販売とさせて
いただきます。
※1セット2本(純米大吟醸、特別純
米酒 各1.8ℓ)

販売価格 8,800円(税込)

ソリマチ農業簿記操作研修会
(決算・確定申告書作成編)を
開催し角田市農業青色申告会

2月13日、角田市農業青色申告会(面川義明会長)と角田地域担い手育成総合支援協議会と共催で農業青色申告会の会員を対象に、農業簿記操作研修会(決算・確定申告書作成編)を公社議室で開催しました。研修会には午前、午後を合わせて21名が出席しました。

ソリマチ株式会社より講師をお招きして、ソリマチ農業簿記11のソフトと確定申告作成ソフトをインストールした後、減価償却費や家事関連費の各種転送の方法、確定申告書作成ソフトへの取込方法など、青色申告決算書と確定申告書の作成及び出力までの研修を行いました。

△熱心に受講する会員



農村体験交流事業報告
(東京工業大学留学生)

角田市と友好都市の東京都目黒区に学び舎のある東京工業大学の留学生18名が、2月25日から28日まで、角田市内でホームステイし、農村の生活・文化を体験しました。

これは、同大留学生センターが「農村体験交流」として企画したもので、平成20年度から実施しており、今年で12年目になります。これまでに194名の参加実績があります。

なお、ホームステイの受入れ事業は「アジアの農民と手をつなぐ会」(面川義明代表)が主体となり、行っています。今年は、イラン、シンガポール、マレーシア、タイや台湾、インドネシア、中国、フィリピン、ギリシャ、フィンランド、スリランカ、バンラデシユ、エジプト、オーストリア、オマーンなど、計15カ国の留学生が、9軒のホストファミリーに分かれてホームステイしました。

【1日目】2月25日

1日目は、バスで角田宇宙センターを見学し、その後、仙南シンケンファクトリーでホストファミリーとの対面式及び歓迎会を行いました。来賓の皆さんからのあいさつの後、歓談の途中で、北郷地区の君萱神楽を見学し、留学生たちは、その舞に興味を示しながら、鑑賞している様子でした。

また、余興では、学生たちが、歌を唄ったり、ダンスを踊ったりとリラックした状態で、次第に打ち解けて、最後には、言葉を越えたコミュニケーションができました。歓迎会も笑顔があふれる中、盛會裡に終了しました。



△宇宙センター見学と対面式・歓迎会の様子

【2日目】2月26日

2日目は、西根5区公民館(山の内分校)で蕎麦打ち体験し、学生たちが自分たちで打った蕎麦を食すなど楽しいひと時を過ごした後、被災地の旧中浜小学校見学し、山元町の震災語り部による震災時の状況について、説明を受けました。山元町のイチゴ農園さんでイチゴ狩りを楽しみました。



△そば打ち体験

【3日目】2月27日

3日目は、各自ホームステイ先で終日過ごしました。留学生の皆さんそれぞれ、十分に角田の農村文化や生活を体験できた様子でした。



△被災地視察の様子

【4日目】2月28日

最終日は、オークプラザでお別れ会を開催し、留学生・ホストファミリーが、輪になって椅子に座り、交流の感想を述べていました。皆さん感激のあまり涙する留学生もありました。その後、集合写真を撮るなどして名残惜しいうちに帰路につきました。



△お別れ会の様子(オークプラザ)

あぶくま農学校農業体験学習「春」が中止

各団体で田植え

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、春の田植えの交流が中止となっております。感染の状況などから、秋の稲刈りができるか不透明な点が多いですが、各団体で田植えをしておりますので、田んぼの写真を紹介いたします。なお、各田んぼで生育調査を5月18日、6月1日に実施しており、順調に生育しています。

緑ヶ丘小・北郷小学習田

緑ヶ丘小学校と北郷小学校の学習田については、5月15日に森谷茂さんの田植え機で、田植えを行っています。30アールの学習田で「つや姫」を植えました。



△緑ヶ丘小・北郷小学習田 田植えの様子

下目黒小・枝野小学習田

下目黒小学校と枝野小学校の学習田については、5月18日に農業体験交流実行委員会の皆さんと枝野小学校の先生方が集まり、約7アールの田んぼに、「つや姫」を田植え機により、田植えを行いました。



△下目黒小・枝野小学習田 田植えの様子

月光原小・西根小学習田

月光原小学校と西根小学校の学習田については、5月16日に約7アールの田んぼに「みやこがねもち」とい



△月光原小・西根小学習田 田植えの様子

うち米を西根地区子ども会育成会のみなさんが田植え機で田植えを行いました。



△月光原小・西根小学習田 田植えの様子

目黒角田絆交流実行委員会

目黒角田絆交流事業についても春の田植えの交流は、中止となりましたが、5月15日に約30アールの田んぼに「つや姫」を森谷茂さんの田植え機で田植えを行っています。今後、暑くなるにつれて、生育も進んでいくので、収穫が楽しみです。

※現在の田んぼの様子は、当公社のブログ「これがぼくらの田んぼだぞ」<http://kakuinou4expos.jp/>からご覧いただけます。定期的に生育状況をお知らせしておりますので、是非ご覧下さい。

あぶくま農学校からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和2年7月18日・19日に開催予定となっていた第57回目黒区商工まつり（目黒リバーサイドフェスティバル2020）は、中止となりました。それに伴い、例年、あぶくま農学校で実施しておりました実践塾（農産物のイベント販売）についても中止いたします。毎年、楽しみにされていた方々、来年度以降、是非、買いにきて下さい。



△目黒角田絆交流事業交流田 田植えの様子

～新型コロナに負けない元気な角田の農業のために～

角田市農業振興公社顧問 荒川 隆

今、新型コロナの蔓延で世の中の社会生活も経済活動も大きな制約を受けています。全国的な緊急事態宣言は解除されましたが、いわゆる「3密」を伴う行動には引き続き注意が必要ですし、筆者が住む東京から他地域への移動制限も6月中旬にようやく解除されたばかりです。筆者もこの間、2月以降、角田に帰れない状況が続いています。また、この季節は、農協や土地改良区など各種団体でも通常総会など重要な会合が目白押しですが、残念ながらその多くは、オンライン会議や書面議決などによる不自由な開催となっています。

一方で、自然や生き物を相手にする農業・畜産業においては、季節の移り変わりとともに必要となる農作業があり、また、日々の家畜の管理や搾乳なども待ったなしです。読者の皆様も、新型コロナによる農畜産物の需要減退や価格下落、また自らの感染への不安などを背負いながらの厳しい毎日が続いていると思います。

国を始め県や市も、様々な新型コロナ対策を講じていますが、実感されていますか。1家族2枚のアベノマスクはあまりに評判がよくありませんでしたが、もう届きましたか。全国民を対象とした10万円の特別定額給付金もオンライン申請をめぐるトラブルなどもあり、市町村役場職員の努力には頭が下がるものの、大都市での進捗状況は今一つです。地域・業種横断的な「持続化給付金」も、受託した某協議会から大手広告会社への再委託が「丸投げではないか」と、国会でも問題視されました。そんな状況下ですが、こんな時には、使える施策は何でも活用して、自らの事業や生活の維持・立て直しにあたっていただきたいです。

これらの全国民、全事業者に対する新型コロナ対策に加えて、農業者や食品関連事業者の方々に活用していただけるきめ細かな対策については、農林水産省が中心となって取りまとめています。農業版の「持続化補助金」ともいえるような、「経営継続補助金」や肉用子牛生産基盤の弱体化防止のための「優良肉用子牛生産推進緊急対策事業」、来期の作付けに不安のないよう資金手当を支援する「高収益作物次期策支援交付金」など、農業経営の継続のために必要な資金手当を、痒い所に手が届くように、支援していこうとしています。また農業者個人向けではありませんが、新型コロナによる需要減退に対処するため、飲食店の需要喚起を行う「Go To Eat キャンペーン」や「生乳需給改善促進事業」、また、外国人技能実習生の不足に対応するための各種人材確保のための支援策なども取りそろえられています。

これらの対策をうまく活用していただくためには、農業者の皆様自らアンテナを高くしていただくのはもちろんですが、我々が農業振興公社や地元農協などの情報収集力、発信力、そして行政との連携力などが、とても大切です。

筆者も微力ながら、農林水産省での勤務経験や、JA全農経営管理委員としての知識・経験を活かして皆様のお役に立ちたいと考えていますが、行政や団体の新鮮な情報は、ぜひとも仙台に所在する東北農政局宮城支局を活用していただきたいと思います。

支局は、生産現場に軸足を置き、「現場に伝える」「現場の声をくみ上げる」「現場とともに解決する」を合言葉として活動する農林水産省の出先機関です。管内の農業現場の声を伺い、ともに悩み、そして解決策を模索する、地方参事官とその仲間たちがおります。持続化給付金業務を受託したどこかの団体が急ごしらえで作った相談窓口とはわけが違いますので、遠慮なく、悩みを相談していただければと思います。

筆者も2月以降講演が軒並みキャンセルとなり、持続化給付金でも使わせてもらいたいくらいですが、いずれにしろ、みんなの努力でこの危機的事態を乗り越えて、いつもの日常に戻った暁には、また角田の元気な農業と賑わいのある地域振興のために皆様と意見交換いたしたいものです。

○筆者紹介

荒川 隆(あらかわ たかし)

1959年 宮城県生まれ

角田小学校、角田中学校、角田高等学校、早稲田大学を卒業

1982年 農林水産省入省、食糧部長、畜産部長、総括審議官、大臣官房長、農村振興局長を歴任

2018年 退官 現在、損害保険会社と角田市農業振興公社の顧問及びJA全農の経営管理委員を務める

※今回、特別に荒川顧問より、ご寄稿いただきました。ありがとうございました。



特別会員（サポーター）募集

※写真はイメージです

角田市農業振興公社では、毎年旬の時期に角田の味覚を味わって頂く目的で農産物を特別会員（サポーター）へお送りしています。今年度も、「角田の農産物を味わってみたい」という特別会員（サポーター）を募集しています。年会費は、1万円と5千円と2種類に分かれています。申込みを希望される方は、7月31日まで当社にご連絡お願いいたします。（申込み後、詳細と振込用紙を郵送させていただきます。）

《Aコース（会費1万円）》基本セット（朝ごはんセット）+下記①～③より2点を選択



基本セット（朝ごはんセット） ①梨 5Kg（幸水または豊水） ②麦とろセット 12月頃予定
10月頃予定 9月頃予定

③いちご 来年1月予定

《Bコース（会費1万円）》

《Cコース（会費5千円）》

《Dコース（会費5千円）》



新米中心のセット 20Kg
味噌 750g 10月予定

角田産秘伝豆と牛肉のセット
10月上旬予定

新米ひとめぼれ5Kg・つや姫5Kgのセット 10月上旬予定



↑上記のQRコードよりお申込みができます。

【農業簿記検定受験のための勉強会参加者募集】

募集のお知らせ

農業者の所得申告は、「収支計算」へと変遷し、記帳義務が課せられるようになりました。また、税務上のみならず、個々の農業経営者として経営内容を把握し自立経営に役立てるという意味で、簿記記帳は非常に重要なツールとなっていることから、農業簿記検定を受験することで、知識を身に付けることが可能になります。令和2年度の農業簿記検定3級のための勉強会を下記により開催しますので、是非ご参加下さい。希望する方は公社までお申込みください。

※参加希望人数が少ない場合は、開催しないこともありますので、あらかじめ、ご了承ください。

- ◎開催予定時期： 令和2年10月下旬から11月中旬まで6日程度
- ◎場所/ 公社会議室等 募集人員/ 7名程度 講師/ 県職員ほか
- ◎負担金/ 公社会員は2,500円（テキスト代・受験料）
- ◎申込み期限 令和2年9月25日（金）まで



4月からの公社職員体制です。

事務局長	仙石 利幸
主事	三文字 正勝 (新任)
主事	加藤 厚志 (新任)
主事	毛利 伝一
主事	斎 正昭
主事	佐藤 裕美
主査	清水 正倫 (市より公社担当)



事務所は、角田市役所西庁舎の北西にあります